

# 今年の漢字

毎年、12月の中旬になると、公益財団法人 日本漢字能力検定協会が「今年の漢字」を発表しています。この「今年の漢字」は、漢字の奥深さと意義を再認識してもらうために、毎年年末に今年一年の世相を表す漢字一字とその理由を全国から募集し、最も応募数の多かった漢字を発表しているものです。平成7年から始まり、今年で26年目を迎えています。

昨日、「今年の漢字」が発表され、「金」が第1位になりました。その理由は、長く暗いコロナ禍において開催された東京オリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍や、各界で打ち立てられた「金」字塔がひとときわ輝くニュースとなった年だからだそうです。それ意外にも、「楽」「希」「明」などの漢字が上位になり、今年は、明るいイメージの漢字が多かったようです。



さて、「今年の漢字」にあやかり、下伊場野小学校の子どもたちにも、今年の自分を振り返ってもらうために「私の今年の漢字」を考えて書いてもらいました。「気」「音」「動」「無」「命」など、全校児童ひとりひとりの思いが詰まった漢字が出てきました。子どもたちが真剣に考えた漢字ですので、参観日の日に保護者の方々へ、自分のお子さんがなぜその漢字にしたのか、家に帰ったら理由を聞いてくださいとお願いしました。きっと、その夜は、子どもたちが、その漢字にした理由を聞いて、感動したのではないかと思います。

ぜひ、保護者の方や地域の方も、今年1年の自分を振り返って漢字一文字で表してみてください。そして、家族や近所の方々と「今年の漢字」を話題にして「お茶っこ飲み」でもしていただければと思います。きっと楽しい時間を過ごせると思います。



子どもたちの「私の今年の漢字」